

「医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議」
開催要綱

1. 目的

「レセプト情報・特定健診等情報データベース」（以下「NDB」という。）及び「介護保険総合データベース」（以下「介護DB」という。）は、医療保険及び介護保険のレセプトデータ等を悉皆的に格納する匿名のデータベースとして、医療・介護分野の計画の策定、実施、評価のための分析等のデータに基づく政策形成等に用いられている。

NDB、介護DBについては、近年、地域における効果的・効率的で質の高い医療・介護の提供体制や地域包括ケアシステムの構築など、国民の保健・福祉の向上・増進のため、両者の情報の連結解析・提供が可能となる基盤を構築することの重要性が指摘されており、あわせて、セキュリティや効率的な実施体制の確保等の課題や、近年整備が進められている他の公的データベース等との関係についても検討が必要である。

こうしたことを踏まえ、NDB、介護DB情報等の解析基盤について、社会保障審議会医療保険部会及び介護保険部会での検討に資するため、法的・技術的な論点について整理・検討するため、本有識者会議を開催する。

2. 検討事項

- (1) 個人情報保護法制等との関係
- (2) データの収集・利用目的、対象範囲
- (3) 第三者提供
- (4) 費用負担
- (5) 実施体制
- (6) 技術面の課題（セキュリティの確保等を含む。）
- (7) その他

3. 構成員

- (1) 構成員は、別紙のとおりとする。また、その任期は平成31年3月31日までとする。但し、再任を妨げない。

- (2) 本有識者会議の座長は、本有識者会議の構成員の中から互選により選出することとする。座長は、本有識者会議の事務を総理し、本有識者会議を代表することとする。座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員が、その職務を代行することとする。

4. 運営等

- (1) 本有識者会議は、老健局長及び保険局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本有識者会議においては、必要に応じ、(1)の構成員以外の関係者の出席を求めることができる。
- (3) 本有識者会議は原則として公開するとともに、議事録を作成し、公表する。
- (4) 本有識者会議の庶務は、老健局老人保健課及び関係課室の協力を得て、保険局医療介護連携政策課において処理する。
- (5) この要綱に定めるもののほか、本有識者会議の運営に関し、必要な事項は、会議において定める。

「医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議」
構成員名簿

- | | | |
|---|--------|-------------------------------------|
| | 石川 広己 | 公益社団法人日本医師会常任理事 |
| ◎ | 遠藤 久夫 | 国立社会保障・人口問題研究所所長 |
| | 海老名 英治 | 栃木県保健福祉部保健医療監 |
| | 田中 弘訓 | 高知市健康福祉部副部長 |
| | 樋口 範雄 | 武蔵野大学法学部特任教授 |
| | 松田 晋哉 | 産業医科大学医学部公衆衛生学教授 |
| | 松山 裕 | 東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻生物統計学分野教授 |
| | 武藤 香織 | 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター
公共政策研究分野教授 |
| | 棟重 卓三 | 健康保険組合連合会理事 |
| ○ | 山本 隆一 | 一般財団法人医療情報システム開発センター理事長 |

50 音順、敬称略

◎ 印は座長、○印は座長代理